

## 令和7年度 学校評価結果報告書

桶川市立加納中学校  
校長 矢澤 等

### 目指す学校像

「一人一人が輝き 夢と誇りのもてる 爽やかな学校」

- (1) 明るい元気な挨拶を交わす和やかな学校
- (2) 生き生きと学びがあふれる学校
- (3) 歌声が響き、声高らかに校歌を歌える学校

学校運営協議会委員評価欄の記入については、[ A B C D ]のいずれかに○をつけていただきました。

( A : よくあてはまる B : ややあてはまる C : あまりあてはまらない D : まったくあてはまらない )

臓	No	評価項目	評価指標	自己評価		学校運営協議会委員評価欄
				評価	評価の理由・改善策	
1 組織・運営 (学校組織の活性化を推進する。)	1	「情報共有」と共通理解・共通行動	【各種会議や委員会、校務支援システム等を活用して情報を共有し、互いに協力し合いながら共通理解のもと職務に専念している。】	3.38 A	【評価の理由】 全体として、校務支援システム(C4th)を活用し情報共有ができています。 【改善策】 職員がC4thを確認することを呼び掛けたり、習慣づけたりする。	A 100 % B 0 % C 0 % D 0 % 無回答 0 %
	2	各分掌・特別委員会活動の活性化	【校務分掌の各主任を中心に分掌内で課題を共有し、前年度の反省を生かした計画を立てて実践している。】	3.25 A	【評価の理由】 全体として、各主任を中心に分掌内で課題を共有し、計画・立案ができています。 【改善策】 担当が変わっても同様の対応ができるように、記録を残し、継承することを徹底する。	A 87.5 % B 12.5 % C 0 % D 0 % 無回答 0 %
2 学習指導 (確かな学力を育成する。)	3	一人一人のニーズに応じた適切な教育の推進	【各生徒の到達度を把握し、それに応じた手立て、方策を考え、個別に対応するよう工夫している。】	3.22 A	【評価の理由】 ICTを効果的に活用し、全員が参加できる授業を実施している。 【改善策】 確かな学力を定着させるために、ミニテストなどの効果的な取り組みを継続する。	A 75 % B 25 % C 0 % D 0 % 無回答 0 %
	4	学習規律が整い、安心して学べる雰囲気醸成	【学習の向上を目指し、生徒の実態に基づいて学習ルールを定めて、授業改善に努めている。】	3.09 B	【評価の理由】 授業規律加中5カ条をもとに、共通理解のもと、指導が行えている。 【改善策】 引き続き、授業規律加中5カ条の徹底を図るとともに、授業後のフォローも手厚く行う。	A 12.5 % B 75 % C 0 % D 0 % 無回答 12.5 %
	5	基礎・基本の確実な習得ができる指導の工夫	【わかりやすい授業を工夫し、基礎的・基本的な知識・技能の定着に努めている。】	3.48 A	【評価の理由】 教師が基礎基本の定着を意識して授業を展開している。 【改善策】 指導方法の工夫について、教科内や他教科の実践例を学ぶ機会をもつ。	A 100 % B 0 % C 0 % D 0 % 無回答 0 %

	6	主体的に学び合う活動の推進	【各教科等の指導では、主体的に学び合う活動を取り入れるように工夫している。】	3.65 A	【評価の理由】 ICTを効果的に活用しながら、他者参照できる場面を設けるなど、工夫している。 【改善策】 教科内での実践事例の交流、他教科間での授業見学など、学ぶ機会をもち、指導力向上に努める。	A 100 % B 0 % C 0 % D 0 % 無回答 0 %
3 生徒指導・教育相談（生徒指導・教育相談を充実させ、いじめ・不登校の防止に努める。）	7	自己指導能力（自己存在感・共感的人間関係・自己決定）を育成する指導の推進	【各種アンケート結果を利用して生徒の実態把握をし、面談等を通して解決策を考えるようにしている。】	3.54 A	【評価の理由】 各種アンケート実施後、その結果を受けた対応ができています。 【改善策】 アンケートの継続実施と、アンケート後の対応について、共通理解を図る。	A 87.5 % B 12.5 % C 0 % D 0 % 無回答 0 %
	8	いじめ・不登校解消及び未然防止に係る適切かつ迅速な対応	【職員相互の情報・意見交換の時間及び場を確保し、観察・声掛けを日々して、相談しやすい場の設定など積極的な教育相談を行い、初期対応に努めている。】	3.21 A	【評価の理由】 生徒指導、教育相談の情報共有が図られ、共通理解行動に努めている。 【改善策】 初期対応が重要であるという共通認識のもと対応にあたる。また、未然防止に関する教員研修を行いたい。	A 75 % B 12.5 % C 0 % D 0 % 無回答 12.5 %
	9	生徒指導委員会を中心とした組織的・積極的な取組の充実	【職員相互の情報・意見交換の時間及び場を確保し、それをもとに生徒一人一人についてきめ細かな対応を行い、保護者との連携も行っている。】	3.29 A	【評価の理由】 生徒指導案件が発生した場合、生徒指導主任を中心に丁寧に対応している。 【改善策】 報告・連絡・相談を密に行い、職員間、保護者との連携をさらに確実に行っていく。	A 100 % B 0 % C 0 % D 0 % 無回答 0 %
	10	教育相談部会を中心とした組織的・積極的な取組の充実	【生徒の個性や状況を早期に把握し、適切な相談活動（「3日欠席→家庭訪問」「保護者との連携」）などの対応を行っている。】	3.33 A	【評価の理由】 支援室、相談室との連携を図るとともに、保護者と生徒の気持ちを大切にしながら対応に努めている。 【改善策】 生徒理解をさらに深め、情報の共有と引継ぎを大切にして、よりよい対応に努める。	A 100 % B 0 % C 0 % D 0 % 無回答 0 %
4 健康教育（体力の向上と健康・安全教育を推進す	11	疾病予防の推進	【疾病予防と早期発見・早期治療を呼びかけている。】	3.58 A	【評価の理由】 養護教諭を中心として、日々の観察等で生徒の実態を把握するとともに、保健委員会等の活動を工夫している。 【改善策】 疾病予防の呼びかけをさらに推進し、保健委員会での取組を充実させていく。	A 100 % B 0 % C 0 % D 0 % 無回答 0 %
	12	活動時における安全指導と安全管理の充実	【施設設備の安全点検を実施するなどして、事故を未然に防ごうとしている。】	3.54 A	【評価の理由】 毎月の安全点検を確実にし、施設設備の安全管理への意識を徹底できている。 【改善策】 不要な備品の廃棄を進め、引き続き安全点検の計画的な実施を行う。	A 87.5 % B 12.5 % C 0 % D 0 % 無回答 0 %

	13	健康や交通安全の意識を高める指導の充実	【登下校や普段の交通安全の意識を高めたりしている。】	3.04 B	【評価の理由】 機を捉えて交通安全に関する指導ができていた。交通事故を起こさないよう、引き続きの指導が必要である。 【改善策】 登下校時をはじめとする交通ルール順守をさらに徹底させていく。	A 12.5% B 87.5% C 0% D 0% 無回答 0%
5 学習環境 (よりよい教育環境づくりを推進する。)	14	ユニバーサルデザインの視点に基づく機能的・美的な掲示の充実	【機能的、美的な掲示教育を進め、校内に活気と潤いを持たせ、特に教室前面の掲示物の位置を統一し、ユニバーサルデザインの視点で教室掲示を行っている。】	3.25 A	【評価の理由】 教室等への掲示物への配慮について、全校で実施している。 【改善策】 掲示物の更新や、安全点検の実施に合わせた掲示物のチェックなどを定期的に行う。	A 100% B 0% C 0% D 0% 無回答 0%
	15	生徒が進んで学校美化に努める活動の推進	【清掃を全校生徒・全職員で一斉に行い、協働して学校美化を推進している。】	2.88 B	【評価の理由】 協働して校内美化に努めることができた。全校オリエンテーションで意識づけができているが、生徒の取り組みには個人差もある。 【改善策】 清掃について、共通理解を図ったうえで、引き続き清掃指導の充実に努める。	A 12.5% B 75% C 0% D 0% 無回答 12.5%
6 教職員の資質向上 (教職員一人一人の資質や指導力)	16	計画的・組織的な職員研修の充実	【教職員が主体性を持って参加できる研修を設定し、計画的、組織的に指導力の向上に努めている。】	3.54 A	【評価の理由】 研究主任を中心に、推進委員会、研修を計画的に実施し、組織的に指導力の向上に努めている。 【改善策】 研修環境を整え、引き続き「授業力」や「指導力向上」の研修に努める。	A 87.5% B 12.5% C 0% D 0% 無回答 0%
	17	職員相互の尊敬・信頼にもとづく積極的なコミュニケーション・アドバイスの実践	【職員相互の尊敬・信頼・協力により、生き甲斐と張りのある明るい職場をつくっている。】	3.42 A	【評価の理由】 職員同士でコミュニケーションを図り、連携ができていた。風通しのよさを感じる明るい職場である。 【改善策】 引き続き風通しの良い職場を目指すとともに、一人一人の資質を高める努力をしていく。	A 100% B 0% C 0% D 0% 無回答 0%
7 家庭・地域との連携 (地	18	小中一貫教育を念頭においた校種間(小・中・高)連携教育の強化・推進	【授業見学や出前授業、小中連絡会、小中研修会、各種学校行事への児童生徒の参加等、積極的に小学校との連携を図っている。】	3.38 A	【評価の理由】 生徒指導担当教諭が功納小、桶川東小を兼務することで、小中連携が図れていた。あいさつ運動も定期的の実施できた。 【改善策】 研究発表会などの機会に、担当者以外の教員も授業を見に行くなどして、さらに小中連携を図る。	A 100% B 0% C 0% D 0% 無回答 0%

	19	積極的な情報発信と保護者・地域と連携した活動の充実	【各種たよりやHP、情報メール等で教育活動の様子を発信したり、積極的に学校を公開し、教職員が保護者や外部の人材と積極的に連携をとろうとしたりしている。】	3.54 A	【評価の理由】 eメッセージを活用しての手紙の配信や学校HPのこまめな更新などよくできていた。 【改善策】 学年だより、学級だより、部活動予定表などについては、必要に応じてeメッセージと印刷物配付を使い分け、効果的な配信を継続する。	A 100 % B 0 % C 0 % D 0 % 無回答 0 %
∞心の教育 (全教育活動を通して、心豊かな生徒を育てる。)	20	自主的・実践的態度を育む学級活動・生徒会活動の充実	【望ましい集団生活の中で、一人一人が自主性や創造性を伸ばそうとする態度を育成している。】	3.08 B	【評価の理由】 生徒総会、学級討議など、生徒が主体となり考える場面を設け、取組を実践している。 【改善策】 効果的に指導を継続することで、各種委員会をはじめとする生徒会活動をより充実させていく。	A 25 % B 75 % C 0 % D 0 % 無回答 0 %
	21	道徳の時間を要とし、道徳的実践力を育む指導の充実	【全職員が内容項目を理解し、道徳的価値を念頭に置いた指導をし、生徒の変容を見取り、評価している。】	3.22 A	【評価の理由】 学年内ローテーションを組んで、授業を行うことで、生徒を多面的に見ることができ、指導の充実につながっている。 【改善策】 授業を公開する期間を設け、お互いの授業を見合い高め合う機会を作る。	A 100 % B 0 % C 0 % D 0 % 無回答 0 %
	22	豊かな心と感性の育成を目指した体験活動の充実	【積極的に地域の人材を活用するなどして体験活動の充実を図っている。】	3.46 A	【評価の理由】 職場体験、生活体験講座、ふれあい講演会等で学校以外の人材と触れ合う機会を設け、充実した体験活動を行っている。 【改善策】 地域人材を活用し、体験活動の更なる充実を図る。	A 100 % B 0 % C 0 % D 0 % 無回答 0 %